

順位	河川	番地 號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水 長路	面流 積域	能發 率電	馬平均 力數	等級
二〇	ナア イ シ 川	四	天鹽國中川郡中川村 御料地第六十四線 オソイサシユナイ 澤落合下	同中川郡中川村 御料地第五十七線 シヌマサシユナイ 澤落合對岸	清水* 一一一 低水* 一四六 平水* 二二七	* 七五	九二四 一一一五 一、八〇七	二〇〇 一六四三	一〇〇〇 九七〇	九四 一二九	甲	

ナル地點ヲ得ル能ハサルモ二地點ヲ選定セリ

水力地點ノ説明 順位二一九地點ハ、ワクカウエンナイ川合流ニ取入レ水路ハ左岸ノ山裾ニ沿ヒテ開渠ヲ可トス
順位二二〇地點ハ前地點ノ放水下ニ取入レ水路ヲ右岸ニ通シ主トシテ開渠ヲ可トス何レモ河床ハ玉石混リ砂利層ニシテ地質概ネ土砂層ナレハ工事容易ナリ、本川ニ於ケル水力利用範圍ハ、ワクカウエンナイ川合流下約五里ノ間ニシテ此ノ踏査總落差約一八〇尺ニ達ス水位ノ變化ハ最大約七尺トス水量ノ變化ニ就テハ略天鹽川ニ相似タリ流域内ハ交通ノ便良好ナラサルモ天鹽川沿岸鐵道完成ノ上ハ鐵路ヨリ僅カニ二里ニシテ下流地點ニ達スルヲ得

第十七章 「トプシユベツ」川水系 落滑川水系

「トプシユベツ」川水系 本川ハ北見國ノ西北枝幸郡ノ東南ニ位シ北見天鹽ノ國境ニ水源ヲ發スルニ支川ヲ合シテ本川ヲ成シ少シク東北ニ流レタル後左支オフンタルマナイ川ト合シテ北流スルコト三里餘ニシテ、オホーツク海ニ注ク、河川互長約一二三里アリ本川流域ハ東南ヨリ西北ニ約八里西南ヨリ東北ニ約三里ニシテ地勢概ネ水源方面ヨリ海岸ニ向ヒテ傾斜ス、本川水源地タル北見山脈ハ海岸線ニ近ク並行シ山嶺低ク丘陵形ヲナスヲ以テ河川小ニシテ水面勾配亦緩ナリ、オフンタルマナイ川合流點ヨリ上流ハ地勢緩ニシテ且本支川共水量少ケレハ水力利用ニ適セス合流以下ハ殆ト河口ニ至ル迄兩岸迫リ地勢急峻ニシテ小水力利用ニ適ス

二、落滑川水系 本川ハ北見國ノ中央部ニ位シ其ノ源ヲ

北見、石狩ノ國境ニ發シ西ニ彎曲シテ北方ニ向ヒ瀧ノ上ニ於テ東北ニ轉シ上落滑ニ至リテ更ニ北方ニ流下シテ、オホーツク海ニ注ク、河川互長約二四五里アリ流域ハ西南ヨリ東北ニ約一五里西北ヨリ東南ハ中央部ニ於テ約八里アリ地勢概ネ西南ヨリ東北ニ向ヒテ傾斜ス、之カ分水嶺ハ東ハ湧別川南ハ石狩川西ハ天鹽川及興部川ニ界シ北ハ、オホーツク海ニ面ス。本川流域ハ長サニ對スル幅員割合ニ廣ク自ラ支流ニ富ミ其ノ主ナルモノハ瀧ノ上ニ於テ合スル左支、サクルー川及其ノ下流ニ右支、オシラネブ川アリ上落滑ニ於テ右支、タツウシ川ヲ合シ河口ニ近ク左支、ウツ川ヲ合ス中流部以上ハ一般ニ山岳起伏シテ急峻ナル地形ヲナシ水面勾配亦急ナルモ下流部ハ一般ニ緩ニシテ沿岸ハ農耕地ニ富ム

第二節 「トプシユベツ」川

一、流域 本川流域ハ北見國枝幸郡枝幸村ノ中央部ヲ占メ其ノ面積二〇〇六方里アリ内利用シ得ヘキ面積一六二五方里ニシテ東北ヨリ西南ニ長ク略長方形ヲ呈ス、水源ヲ北見、天鹽ノ國境シユポベルシケ山(一、二七一米及九〇〇米餘ノ諸山岳ニ發シ左支、オフンタルマナイ川ヲ合スル迄ノ

間ハ地勢一般ニ緩ニシテ兩岸耕地ヲ擁シ、オフンタルマナイ川合流以下ハ兩岸山岳相迫リ地勢急峻ナリ。地質ハ上流部北見、天鹽ノ國境附近ハ安山岩ニシテ下流、オフンタルマナイ川合流附近ニ至ル間ハ古生層以下安山岩ニシテ河口沿岸ハ第四紀層ニ屬シ中流部右岸ニ僅少ノ花崗岩及閃綠岩ヲ見ル。流域内山林ハ凡テ國有林ニシテ全流域面積ノ約七割ヲ占メ、オフンタルマナイ川合流點ヨリ上流ハ殆ト針濶混濬林ニシテ内本流ニ沿ヒ狹長ノ針葉樹林アリ樹種ハ、ナラハリギリ等ノ濶葉樹多ク之ニ、エゾマツ、トドマツノ針葉樹ヲ加フ、流域内ノ地目ハ殆ト山林ニシテ中流部ニ僅少ノ農牧地アリ馬鈴薯ヲ産ス

二、河川狀況 「オフンタルマナイ」川合流點ヨリ上流ハ河岸、河床共所々ニ岩盤ヲ露出シ水勢緩ニシテ上流部ハ亂流多シ之ヨリ下流ハ兩岸屹立シ河床玉石混リ砂利層ニシテ水勢稍急ナリ

三、治水及水利 治水計畫ナク水車及灌溉用水等無シ流木ハ少許ノ薪炭材ヲ流送ストイフ

四、水力地點 本川ハ、オフンタルマナイ川合流ヨリ上流ハ水量殆ト二分セルニ俣川ニシテ各川流量少ク水勢急ナラサレハ水力利用ニ適セス合流點ヨリ下流ハ兩岸迫リ地

形急峻水勢亦急ニシテ水力利用ニ適スルヲ以テ一地點ヲ 選定セリ

トプシニベツ川水力地點表 水量落差ニキテ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	能發電率	年平均馬力數	管級
三	トプシニベツ川	一	北見國枝幸郡枝幸村 歌登 オフンタルマナイ川落合	同 ニセイパロマナイ川 合流上	湯水* 九八 低水* 一四六 平水* 二〇三	* 九〇	九七九 一、四五九 二、〇二八	二、五〇〇	一、六五五	一〇〇〇 六六三 八二七	九七九 一、四〇五 一、六七七	甲

水力地點ノ説明 順位一ニ二地點ハ、オフンタルマナイ川合流下ニ取入ル兩岸ハ相迫リ山勢急峻ニシテ地質安山岩ナリ水路ハ開渠ニシテ取入口締切ハ稍困難ナリ。本川ニ於ケル水力利用範圍ハ、オフンタルマナイ川合流點ヨリ下流ニセイパロマナイ川落合ニ至ル一里餘ノ間ニシテ此ノ總落差約一二〇尺トス、交通甚タ不便ナリ

第三節 落滑川

一、流域 本川流域ハ北見國紋別郡ノ中央部ヲ占メ瀧ノ上落滑雨村ニ跨リ西南ヨリ東北ニ向ヒテ略橢圓形ヲナス其ノ面積約七五五方里アリ内利用サルヘキ面積四〇七方里トス、上流部ハ北見山脈ニシテ西ニウインシリ岳(二二

三米)西南ニ天鹽岳(一、五九〇米等)高峰連リ山岳重疊シテ地勢急峻ナリ中流部以下ハ兩岸稍展ケ沿岸農耕地ヲナスモ瀧ノ上ニ至リテ山岳迫リ以下再ヒ兩岸展開シ農耕地ニ富ム更ニ上落滑ヨリ下流ハ右岸廣濶ナル平野ヲナシ左岸ハ山裾ナリ之ヨリ下ルニ從ヒ殆ト平野ノミトナル。地質ハ西部北見天鹽ノ國境附近ハ安山岩ニシテ下流部、オアフンタルマナイ川合流ニ至ル本流沿岸及、タツウシ川流域中流部以下ハ古生層ニシテ、タツウシ川合流ヨリサクルー川合流ニ至ル本流沿岸ニ狹長ノ第四紀層アリ「オシラネ」川合流附近ヨリ上流上落滑ニ至ル本流流域及「サクルー」川下流流域、オシラネ川全流域、タツウシ川上流部流域一帶ハ上部第三紀層ニ屬シコノ内、オシラネ川流

域中部及上部ニ僅少ノ中生層アリ、オアフンタルマナイ川合流附近ヨリ下流ハ右岸輝綠岩ニシテ左岸ハ「ウツ」川流域右岸ニ僅少ノ輝綠岩及上部第三紀層アル外安山岩ニシテ河口沿岸ハ第四紀層ニ屬ス。森林地域ハ總テ國有林ニ屬シ全面積六一・三五方里アリ農耕地面積一五・一方里ヲ算ス、タツウシ川合流ヨリ上流ノ各支川分水嶺附近及本流上流部ハ針葉樹林ニシテ瀧ノ上附近及中落滑左岸ノ山林ニ針葉混濁林及瀧葉樹林ヲ混ヘ凡テ良好ナル自然林ナリ但シ天鹽岳北側及下流左支川ノ上部ニ少許ノ無立木地ヲ存ス是等森林ハ天然更新ニヨルノ外補植造林ヲ行ヒ理想的針葉樹林トナスヘク改善シツツアリ樹種ハ針葉樹ハ「エゾマツ」ト「ドマツ」ニシテ瀧葉樹ハ「ナラ」カ「ツラ」ハ「リギリ」シ「ナノキ」ヤ「チダモ」アカダモ等トス、流域内地目ハ水源附近ハ山岳ニシテ以下沿岸農耕地ヲナスモ中落滑以下「ウツ」川合流ニ至ル間ハ左岸山岳ニシテ河口附近ハ平野ヲナシ下流部ヨリハ燕麥ヲ産ス尙、マブタンネナイ川落合ヨリ上流狀態ヲ述ブレハ流域四〇七方里ニシテコノ内森林面積三六〇方里農耕地四七方里ア 森林ハ凡テ國有林ニ屬シ瀧ノ上附近ニ僅少ノ瀧葉樹林アリ且左岸ニ少部分ノ無立木地アリ樹齡三十年以上二百六十年ニ至ル、伐採ハ國有林ハ大正二年ヨ

リ輪伐期百二十年回歸三十年トシ第一伐採區域タル「サクルー」川ノ上流「サクルー」地方ニ於テ擇伐喬林作業ヲ開始セリ之カ樹種ハ「エゾマツ」ト「ドマツ」ナラ「シナノキ」ハ「リギリ」カ「ツラ」ヤ「チダモ」アカダモ等ノ類多ク建築用材製紙原料及薪炭材トシテ毎年十一月中旬ヨリ翌年三月下旬頃マテ約二十萬石ヲ伐採シ主トシテ流送ニヨリ下流ニ運ブ。氣象ニ關シテハ本省設置瀧ノ上雨量觀測所ノ觀測ニ依ルニ調査期間ハ大正九年ヨリ同十一年九月迄ニシテ降水量ハ大正九年ニアリテハ八月ノ一三八耗最少ク二月ノ四一・六耗之ニ次キ最多キハ一月ノ一四〇・六耗ニシテ年總量八一六・一耗ナリ大正十年ニ於テハ四月ノ三〇九耗最少ク二月ノ三六・四耗之ニ次キ最多キハ十一月ノ二三五四耗ニシテ年總量九二九四耗ナリ降雪ハ十一月上旬ヨリ始リ十二月ノ下旬ヨリ根雪トナリテ翌年四月中旬ニ終リ積雪最深二尺ニ達ス

二、河川狀況

本川上流部ハ重疊タル山岳ノ間ヲ流レ左支モセカルシユナイ川落合附近ヨリ沿岸稍展ケ河岸ハ岩盤ヲ露出シテ斷崖ヲナス所アルモ概ネ軟岩及土砂層ヨリナリ河床亦玉石混リ砂利層ニシテ水流稍急ナリ瀧ノ上ニ於テ左支「サクルー」川ヲ合スルヤ河岸並河床ハ堅硬ナル岩

盤ヲ露出シテ二段ノ飛瀑ヲナシ其ノ高サ上段約一〇尺下段約一五尺ニシテ勝景ノ地ナリ之ヨリ下流ハ兩岸數丈ノ堅硬ナル岩壁ヲナシ河床亦岩盤ノ露出多ク所々玉石層ヲ交へ水流急ナリ「タツウシ」川合流點ヨリ下流ハ兩岸漸次低ク河床玉石混リ砂礫層トナリ「オアブンベツ」川落合ヨリ下流「ウツ」川落合ニ至ル間ハ左岸山岳迫レルヲ以テ稍峻險ナル軟岩ノ傾斜ヲナシ右岸ハ河岸低ク沖積土及砂礫層ニシテ河床ハ砂利層ヲナシ水面勾配愈緩トナリ平野ノ間ヲ流レテ海ニ入ル。瀧ノ上測水所ニ於ケル流量調査ハ大正九年ヨリ同十一年四月迄ニシテ之カ月別平均流量ヲ概説ス

渚滑川流量表

順位	番順位	河川	測水所	流域面積	流量				流域一方里當流量											
					年次	最大	平水	低水	濁水	最小	最大	平水	低水	濁水	最小					
三九	一	渚滑川	北見國紋別郡瀧ノ上村瀧ノ上	三〇・三	大正八年(十一年) 四三三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
					大正九年 四九〇	五二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
					大正十年 三六〇	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
					大正十一年 五三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
					平均	三三三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

本川ニ於ケル二箇年調査ノ平水濁水量ノ比二・一低水濁水量ノ比一・五ニシテ春季融雪期及夏秋ノ洪水期ニ於ケル

出水ニヨリ兩岸ノ害セラルルハ主トシテ上流部及下流部ニシテ殊ニ下流部ハ流水等ノタメ被害ヲ蒙ルコト夥キモ

中流部ハ前述ノ如ク硬岩盤ナルヲ以テ其ノ被害尠シ冬季河川結氷ハ瀧ノ上測水所ニ於テハ十二月中旬ヨリ翌年三月中旬迄ニシテ氷厚約二尺ニ達シ河川全幅結氷シテ三月中旬ヨリ解氷ヲ始メ四月上旬ニ至リ全部解氷スルヲ以テ流水モ亦四月上旬頃ニ多シ

二尺徑二尺ヲ最大トシ瀧ノ上村「サクル」事業區ヨリ伐採搬出シテ散流ニヨリ下流渚滑村ニ流送スルモノニシテ四月中旬ヨリ十月下旬迄ノ間ニ行フ。許可水力地點ハ一地點アリ渚滑川水力電氣株式會社ノ所有ニ屬スルモ未發電ナリ

三、治水及水利 本川沿岸ハ比較的水害ヲ蒙ルコト少キモ下流部ハ相當浸水ヲ受クルコトアリ北海道廳ニテハ河口ヨリ渚滑第三十二線ニ至ル間ノ治水工事費四百三十萬圓ヲ計上セルモ未ダ着手ニ至ラス、水車利用ニ就テハ瀧ノ上原野ニ於テ六八九個瀧ノ上ニ於テ五五四個瀧ノ上市街地ニ於テ六三個ノ水量ヲ引用スルモノアリ何レモ製材用ニ供ス、流木ハ建築用材及製紙原料ニシテ年約四萬石乃至十五萬石ヲ算シ「エゾマツ」「トドマツ」等ノ針葉樹多ク長サ一

四、水力地點 本川上流部ハ兩岸比較的發展ケ山嶺相距ル所多ク水力利用ニ際シテ相當注意ヲ要スヘキモ中流部即チ選定水力地點附近ハ地形、地質等前述ノ如クニシテ水力利用ニ適シタル河川ト謂フヘシ、唯「サクル」川合流點下ニアル二段ノ瀧ハ此處ニ瀧ノ上市街ヲ形成シ飛瀑ハ即チ名勝トシテ觀覽客亦少カラサルニヨリ之ニ要スル水量ヲ考慮スルノ要アリ

渚滑川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面流域	能發電	年平均馬力數	等級
三三	渚滑川	一	北見國紋別郡瀧ノ上村瀧ノ上(第十一線)	同郡瀧ノ上村「サクル」川落合	平水 二五八 低水 一八七 濁水 二二四	一一七	一六一〇 二四二九	二四〇〇	一九一〇	六六三 一〇〇〇	一三三〇 一七〇	甲

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	巨 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
一三	清滑川	二	北見國 紋別郡 瀧ノ上村 サタル川 落合	同 郡 瀧ノ上村 オシラキ川 落合	洪水 一七九 低水 二七〇 平水 三七三	一〇一	二、〇〇七 三、〇二七 四、一八二	三、五〇〇 二、九四〇	一〇〇〇 九六三 八二七	二、〇〇七 二、九二五 三、四九元	甲	
一四	同	三	北見國 紋別郡 瀧ノ上村 オシラキ川 落合	同 郡 瀧ノ上村 オシラキ川 落合	洪水 二四八 低水 三七四 平水 五一七	六五	一、七八九 二、六九八 三、七三〇	二、七〇〇 四、〇七〇	一〇〇〇 九六三 八二七	一、七九九 二、五九六 三、〇八五	甲	

水力地點ノ説明 順位一三二地點取入口タル瀧ノ上村第十一線附近ハ右岸稍急峻ナル山岳ヲナシ左岸ハ高臺ニシテ附近農耕地ヲナスモ下ルニ從ヒ右岸山嶺距リ左岸急峻ナル地形ヲナシ水面勾配稍急ナリ 順位一三三地點ハ、サクナル川合流點下ニ於ケル飛瀑ノ上流ニ取入レ附近堅硬ナル岩盤露出シ以下兩岸岩盤屹立數丈ニ及ヒ斷崖ヲナシテ上渚滑ニ至ル 順位一三四地點ハ、オシラキ川合流下ニ取入レ水面勾配漸次緩トナリ落差低ケレトモ水量ノ増加ト地勢工事ニ適セルヲ以テ選定セリ。本川水力利用範圍ハ上渚滑ヲブタンネナイ川落合ヨリ上流約六里ノ間ニシテコノ總落差約三五〇尺トス、水位變化ハ最大約六尺ナリ、流域一方里當流量ハ平水量一二七個、低水量九二個、渇水量六

一個ニシテ年別ニ之ヲ見レハ九年ニ多ク十年ニ少ク年内流量變化ヲ概述スレハ一月ヨリ三月迄ハ低渇水量中間ヲ流出シ四月ヨリ六月中旬迄ハ平水量ヲ超過スルコト多シ之ヨリ以降八月月上旬迄ハ平、低渇水量ヲ上下シ八月中旬ヨリ十一月迄ハ平水量ヲ超過スルコト多ケレトモ他川ト等シク大正十年ノ如ク九月十月ノ大部ハ低水近クテ流出スルコトアリ十二月ニハ平、低水量中間ヨリ低渇水量中間ニ下ルヲ常トス使用水量ニ就テハ一月乃至三月間ハ低水量ヲ使用シコノ間一月又ハ三月ニ渇水期ヲ來スコトアルヘク四月ヨリ七月上旬迄、八月大部並九月下旬ヨリ十月上旬迄及十一月ハ平水量ヲ使用シ十二月ハ大體ニ於テ低渇水量中間トシ其ノ他ハ低水量ヨリ稍多クテ使用シ得ヘシ、交通

ハ便利ニシテ工用材料ノ運搬亦容易ナリ

第十八章 湧別川水系

第一節 概説

本川ハ北見國ノ中央紋別郡ノ東南部ヲ西南ヨリ東北ニ向ツテ流レ、オホーツク海ニ注キ其ノ流域ハ東南ハ常呂川流域ニ、南ヨリ西ハ石狩川流域ニ、西南ハ渚滑川其ノ他小河川流域ニ接ス、本川ハ上流部、シーユーベツ川ヲ合スル迄ヲ「ルベジユベ」川ト稱シ其ノ水源ヲ北見石狩ノ國境山脈中一、三〇〇餘米ノ高峰ニ發シテ重疊タル山岳ノ間ヲ東北ニ流レ白瀧ニ於テ水源ヨリ東北ニ流レ來ル右支、シーユーベツ川ヲ合シテ湧別川トナリ水面勾配急ニシテ沿岸ニ狭少ノ農耕地アリ之ヨリ東北ニ直流シ丸瀨布ニ於テ、シーユーベツ川ト殆ト並行シ常呂川水系、ムカ川トノ分水嶺ニ沿ヒテ東北ニ流レ來ル右支、ムリイ川ヲ合シ下ルコト數町ニシテ左支、マウレセフ川ヲ入レ金山橋ニ至ルヤ方向ヲ東ニ轉シ左岸山岳迫リ右岸農耕地ノ間ヲ流下シ野上ニ於テ更ニ東北ニ向ヒ兩岸展ケ下ルコト約一里半ニシテ遠輕市街ノ東

ニ出テ流域内東端ヲ北流スル右支、イクタラ川ヲ合ス、之ヨリ河幅愈廣大トナリ所々ニ中洲ヲ生シ稍亂流ノ形ヲナシ左支、サナブチ川其ノ他溪流ヲ集メツツ湧別平野ヲ北流シ水面勾配緩トナリ下湧別ニ於テ海ニ朝ス、此ノ流程約二、五里アリ本川流域ハ西南ヨリ東北ニ約一、九里幅ハ中央部ニ於テ約八里下流部ニ至リテ漸次狹ク約一里トナリ地勢概ネ西南ヨリ東北ニ向ヒテ傾斜ス、本川ハ一般ニ流域内地勢急峻水面勾配亦急ニシテ水力利用ニ適シ且相當ニ流量ヲ有スル支川多シ即チ、シーユーベツ川ハ其ノ水源ヲ北見石狩ノ國境山脈中、ニセイカウシユベ「岳」(七、六八米)ノ高峰ニ發シテ東北ニ流レ白瀧ニ於テ本流ニ合シ流程約六、八里アリ流域ハ西南ヨリ東北ニ約五里半幅ハ中央部ニ於テ約二里半ニシテ其ノ形略橢圓形ヲ呈シ地勢西南ヨリ東北ニ向ヒテ傾斜シ一般ニ山岳地帯ヲナス、ムリイ川ハ其ノ源ヲ「シーユーベツ」川ノ東南國境山脈中一、八一、九米ノ高峰ニ發シテ東北ニ向ヒ約四里半ニシテ北ニ轉シ山岳密林ノ間ヲ流レ合流附近ニテ西北ニ向ヒ丸瀨布ニ於テ本流ニ合ス、流程約一、〇四里アリ流域ハ西南ヨリ東北ニ向ヒテ狹長ナル地形ヲナシ其ノ長サ約九里幅ハ中央部ニ於テ約四里アリ兩端狹ク地勢西南ヨリ東北ニ向ヒテ傾斜ス、イクタラ川ハ